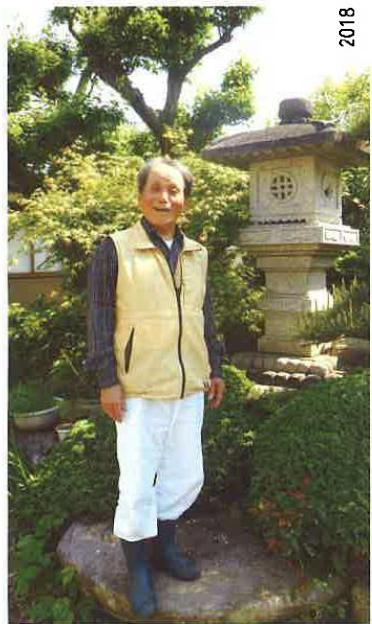




ボランティア活動と 秘湯巡り 南友部 大平 敏正



2018年3月15日

ご自宅の庭にて

人は定年退職後、組織という集団から離脱して新たな生き場所と人間関係を構築しなければならない。私は、余生を楽しく意義あるものとして生きようと思っている。

社会への関わりにおいては独居老人に昼食を作つて届けるボランティア活動を始めた。ボランティアは人のために全くすだけではない。自分たちで打つた手打ちうどんの大満足の笑顔で喜んでくれた一人暮らしのお婆さんがいた。そんなに喜んでくれるのかと、自分自身が嬉しく幸せになつた。ボランティア活動の意義を実感した瞬間であつた。

一方、趣味としては、現役時代から30年以上も続いている全国各地の「秘湯巡り」である。中でも一番印象に残つた。「うまかったよー」と大満足の笑顔で喜んでくれた。ボランティア活動を始めた。ボランティアは人のためには、「カムイワッカ湯の滝」に次ぐ思い出の秘湯は海中温泉である。北海道羅臼町の「瀬石温泉」、伊豆式根島の「地鉈温泉」、屋久島の「海中温泉」など。海と一体化した感覚は海中温泉でなければ味わえない温泉浴である。

秘湯巡りに限らず、旅は心身のリフレッシュに最適である。その土地、その国の歴史、文化に触ること、特に見ず知らずの人々との出会いは「袖振り合うも多生の縁」で旅の楽しみの一つだ。

小規模多機能型居宅介護事業所といふ名を聞いたことがありますか。名前通り、きめ細かい介護サービスを行う地域密着型の介護事業所です。

私は、S字結腸症の手術後、急な発熱などのおそれがあり、週3回の妻の人口透析の治療が8時間となるために、近くの介護施設に日帰りスタイルをお願いしていました。

ところが昨年末、妻が膝の関節の手術を受けることになりました。妻の入院中、私は施設の宿泊介護を受けることにしました。

幸い妻の手術はうまくいつて退院の日が近づいてきました。手術後10分足らずの退院、夜8時過ぎの帰宅となることに不安を感じました。

施設が小規模の特性を生かして、色々なニーズに細かく対応する特性が私たちのケイ



氣候の変動が著しく、百花繚乱もアツという間に終つてしましました。

東支部の代議員会にお子さんと一緒に参加された若い方々が、子どもたちとの共生を目指して明るく楽しく出来たらと力強く思いました。今年も支部だより・ひがしを充実した内容でお届けいたします。

広報委員の渡辺幸江さんが3月で退任されました。長い間ご苦労様でした。(野村典子)



青色防犯車実施

東支部では毎月1回、青色防犯車パトロールを実施しています。平成29年度最後のパトロールは3月12日に実施しました。小学生の下校時間帯を中心に、道路横断の誘導や通学路の安全見守りを行いました。

齢者の希望者に2回目の配食サービスを2月24日に実施しました。女性部手作りのヘルシーメニューである豆腐ハンバーグや卵焼きが大変好評でした。68食のお弁当は女性部員や民生委員の方にもお手伝いいただきました。

喜ばれました。

夫婦で介護施設を体験して 西内郷 多田 邦生



施設の職員さんが作ってくれた誕生日いの色紙

東支部 配食サービス

青色防犯車実施